



## 小池 光選

どつかりと廊下に坐る蛙あてあまりの度胸に猫もたじろぐ  
鹿嶋市 加津牟根夫

【評】情景が眼に浮かぶようである。ちっちゃな蛙が一匹、堂々と廊下のまんなかに坐ってこちらを見てる。あまりの堂々ぶりに人もたじろぐ、猫もたじろぐ。おもしろい。  
「ただ今」の一言のみを耳にせり 帰還後の父何も語らず  
高槻市 佐々木文子

【評】戦場から生還した父。ただ今、とだけ言っておと戦争のことを一切語らなかつた。こども心にそのことを印象深く覚えていく。今年も間もなく暑い八月十五日がくる。四歳が二歳におしえるあいうえおあひるさんの「あ」あひるってなあに 東京都 青木 公正

【評】笑ってしまった。なんとかわい。四歳はもうあいうえおを知ってるが、二歳はまだあひるさん知らない。仲良しきょうだい。乳母車に乗りし幼子我れが目をまっすぐ見つ通り過ぎたり 狹山市 奥蘭 道昭

川の面に光の帯を投影し夜の電車は鉄橋を行く  
野田市 青木 作郎  
スマホから眼を上げて見てと言いたきは車窓にかかると虹の懸橋 芦屋市 宮本 允子

用水の鯉突然に跳ね上がる真上の虫に狙ひ定め  
さいたま市 春日 重信  
切手の絵の桐の花ゆかしさの煙の隅にあはく匂ひき 習志野市 三嶋あけみ

「辞めます」と歌会の友の電話あり静かな決意を寂しく聞けり  
前橋市 近藤 周雄  
濃緑の稲田をめぐる風吹けば自転車の子のベルの音すがし 尾張旭市 小野 薫

## 栗木 京子選

取り上げた子が妻となり通い来る不妊外来最後の務め  
佐倉市 春成 祥子

【評】作者は医療従事者であろう。かつて取り上げた子が成長し、今は不妊外来に通院している。母親になりたいという彼女の願いに力を貸したい。結句が毅然としている。  
卒寿すぎ長旅なんだと頷けり昭和初期からおんぼろ車  
八街市 名取 照子

【評】昭和初期に生まれて九十年余りを過してきた作者。みずから「おんぼろ車」と表しているが強いエンジンを用意した名車なのだ、と感服した。「長旅」が重厚である。  
空港のロビーに待つ間ピアノ弾く娘は母の知らぬ面も  
札幌市 浜中 洋子

【評】娘は旅先で開放的な気分になったのかもしれない。颯爽とピアノを弾いている。空港のロビーであるところが味わい深い。  
漆黒の闇に甘き香流れきてサガリバナ咲く宮古の島に  
あきる野市 大西 国子

ピカピカに洗ったはずのサバ缶に群がるアリの嗅覚すごし  
養父市 正垣千都留  
父の手に引かれて坂を上る時わたりし時空に浮いてた 広島市 宇井モナミ

赤茶けた松に塩ふり酒をかけた夫は静かにノコギリを取る  
加茂市 志田とみ子  
公園で老友ふたり涼とれば「女子会ですか」と小三男子 朝霞市 橋本 友子

雀らは手すりに並び覗き見して餌のおねだり遠くで霧笛 神戸市 谷口 良一

リハビリが炎天に杖をついてゆくパナ帽子は歯科でみた人 東京都 船木千代子

## 依 万智選

おそくはパンを知らない生地なのにパンをめざしてふくらんでゆく 朝霞市 桐島 あお

【評】子どもが言葉を感じたり、歩きだしたりするたびに、誰か教えているのだらうと思う。そんなふうに子育ての歌として私は読んだが、パンは様々なものと重ねあわせて読める。そこも魅力だ。  
付き合っていると思っていた人に付き合いのある人と言われる 京都市 寺西 和史

【評】似て非なる言い回し！ほんの三文字の違いなのに、絶妙にして絶望的な差が、切ないおかしみを醸しだしている。  
いつだって味方ですと言ふやうにちつと立つてる郵便ポスト 岐阜市 後藤 進

【評】見守ってくれているかのようなポストの安心感。歌壇への投稿葉書を投函するポストだとしたら、いっそう味わい深い。  
剃刀で髭剃る如くアスパラの裾包丁で少し剃りたり 四街道市 村山 勝彦

生きるとは小さな家事の詰め合わせいつもがっかりたまにみごとに 和歌山県 助野貴美子  
ボケツトがひとつもないのは不満だがたくさんあると妙に不安だ 燕市 田巻由美子

君とだけワルツのように踊ってそんな感じで結婚したが 周南市 松岡 哲彦  
お通しが旨い居酒屋みたいだと褒められて彼の挨拶 東京都 葉山 あも

ちゃぶ台をひっくり返せば自分では起き上がれない虫に似ていた 東京都 無地ムジカ  
おはじきを「ひい、ふう、みい」と教えれば「ふう、みい」とまねる幼子 久喜市 後藤 直之

## 黒瀬 珂瀾選

終生の伴侶とならむCPAP今朝もティッシュで丁寧に拭く 船橋市 米山 正久

【評】CPAPは、専用マスクで気道に空気を送る、睡眠時無呼吸症候群の治療器具。技術の革新がこうして私たちの命を支える。機械に深く感謝する心が率直に表れています。職業欄に乳児と記入初めての口座開設くずったいね 京都市 根来美知代

【評】乳児であることも一つの職業、と考えれば面白い。飲んで、泣いて、寝て、はまさに大いなる人間の営み。銀行という場と命の喜びが交差する、ユニークな一首です。  
猛暑ゆえ墓に行けずと謝りて線香を焚く義母の命日 宇都宮市 佐藤 順子

【評】墓参に行くことすら躊躇するほどの炎暑。しかし、やはり自分の命が大切です。義母も分かってくれていることでしょう。  
△夫のこと宜しく△と亡き妻言ひしと巡回歯科医われに告げたり 小美玉市 松山 光

散り際はまだ先のこと百日紅諦めの数だけある祈り 福生市 二瓶 利明  
保育所でさよならをした友だちとちびつひろばでするこんにちは 広島市 熊谷 純

なみなみに付け来し徳利傾けん研修生にコップ差し出す 長野市 原田 浩生  
窓辺にてカエルの合唱聴きおれば空暮れゆきし幼きふると 東京都 唐木きみ子

死にたくも生きたくもなる夜だから攻撃性を煽るカフェイン 奈良県 吉川 孝志  
どのような市長がこへ来たとしても迎えるだろうわれら拍手で 大和郡山市 大津 穂波